

教科	学年科目	集計結果の分析	後期に向けての課題
国語	1 現代の国語	「単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。」の数値が高く、生徒が積極的に授業に取り組んでいると考えられる。	「授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた」について、身に付いたことやできるようになったことを実感できるよう意識づけに工夫をしていきたい。
	1 言語文化	おおむね良好な結果が得られたと考える。グループワークや話し合いを通じ、生徒同士で作品に対する興味や理解を深めることができたと感じていたが、生徒も同様に感じていることが結果より読み取れた。	生徒ができるようになったと実感できる場面をより多く設け、振り返りをする場面を増やしていきたい。
	2 現代文B	評論や小説など多様なジャンルを扱うことで自己の考えを確認することができた。その上で他者の考えに触れる機会を設けることで、深い考察にたどり着く力を養うことができた。	多くの知識を関連付けたり、活用させる中で、自らの力が発揮できたことが実感できるように、課題解決のための方法を示したい。
	2 古典A	古典作品を通じ、自らの考えを言語化し伝えると同時に、他者の考えを取り込み、新たな気づきや思考の深化に繋げることができた。	「知識をもとに、解決方法を考える」の項目の点数が低かった。後期はインプットだけではなくアウトプットにも目を向け、既習事項の活用場面を増やし、生徒自身が課題を解決するプロセスを増やしたい。
	2 古典理解	既習事項と関連付けて理解することができる点では一定の評価が得られていた。一方で、学習のねらいや振り返りを行う機会、また、自らの考えを広げる機会などは改善の必要がある。	他者の考えを知り、自らの考えを深める機会を増やしたい。
	3 現代文B	問題演習を中心に授業を行った。問題文をいかに読むか、設問をどのように理解し、どう解答していくか、その道筋を確認した。文章を読むことへの抵抗感をすこずつ減らしていくことができた。	3年生ということもあり、問題演習の授業を期待する声が多く聞かれた。生徒の要望を受け止めつつ、実践的かつ実りある授業展開をしていきたい。
	3 古典B	問題演習中心の授業に、生徒が自分の持てる知識を駆使して努力している様子が評価からうかがえた。	後期も問題を解く場面が多いが、知っている方がよい知識やどこを復習したらよいかを提示することで、確実に実力をつけられるようにしていきたい。
地歴公民	1 歴史総合	全体を通して概ね良好な評価が得られた。対話的な学習を重点的に行った結果として、他者の考え方を知る機会や自分の考えをまとめる場面があると回答する生徒が多いことが特徴的である。	身に付いたことや、できるようになったことを実感することができていない生徒が多い。自分の考えをまとめたものを生徒同士で見せ合ったり、教員からフィードバックを行ったりすることで客観的に評価を得られる場面を増やしていきたい。
	1 公共	概ね良好だった。特に他者の考えを知り、自らの考えを深める機会がしっかりあり、視野を広げることができたようである。今後も継続できるようにしたい。	学習のねらいや振り返る機会が少ないという点が目立った。後期はそれを改善するため、グループワークなどを通じてより明確にねらいを提示し、振り返りをする時間を多く設け、それを他者と共有できるように心がける。
	2 世界史A	全体的に概ね良好な評価が得られた。単元ごとに「ねらい」を明確に提示し、また単元の学習の終わりに「振り返り」の機会を設けたことで、その単元の学習内容の一連の流れを掴むことができ、さらに既習事項と関連付けて理解することができている。	グループワークやなど他者と意見交換する場を設ける機会が少なかったため、後期は他者の意見を聞くことでより自らの考えを広げられるような授業展開をする。
	2 日本史B	概ね良好と考える。ねらいを意識して授業に参加しており、既習事項を活用しながら授業の内容を理解しようとしていることができていると判断できる。	取り組みに対しての授業についての達成感を得られていないと感じる生徒が多い。他者と同じ資料を読みとったり、仮説を立てたりなどの対話的な学習を取り入れることで、考えることに自信をもたせたい。
	3 世界史B	全体的に良好な評価が得られた。特に他者の考えを知る機会が多いことに満足している生徒や、既習事項と関連付けて理解できている生徒が多い。	各単元の中で、自らの意見をまとめ、より深く考察させる力を身に付けさせたい。
	3 地理B	学習のねらいや振り返りなど、どの評価も比較的良好であった。授業の内容やねらいが理解でき、学習につなげられた結果であると推測できる。	普段の授業内での発問や定期テストなどを通じて、できたという自己肯定感を高められる瞬間を増やせるように心掛けていきたい。
	3 発展日本史	全体としては良好な評価が得られた。できるようになった実感や既習事項との関連付けができるようになってきた生徒が多い。	単元の中で他者の考えを知る、新たな考え方を知る項目が3点を切っているため、課題であると考えられる。他者の考えについては簡単な論文等を紹介するなど、知的欲求を満たせるような工夫をしていきたい。
	3 世界史研究	全体的に良好な評価が得られた。限られた時間の中で自らの考えを深めることができた生徒が多く、深い学びにつながった生徒もみられる。	単元の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを深める場面を設けているが、生徒には実感がないようで、この項目は3点を切っている。単元の中で考えを深める場面を増やして改善していく。
	3 日本史研究	学習のねらいや振り返り、できるようになったことを実感する項目で一定の評価が得られた。授業内容の理解や課題解決方法については、ある程度生徒に浸透していると思われる。	自らの考えを広げる機会や、考えさせる場面が少なかったため、そのような場を設定して一方通行の授業にならないように留意したい。
3 地理研究	概ね良好であった。特に学習のねらいと振り返りができたり、他者の意見を取り入れ、理解を深めるといったことができ、広い視野でものごとをみることができたようだ。	授業で得た知識をもと、に後期は前期以上に授業で取り上げた問題が自分の身の回りでも起こりえるというリアルさをしっかりと伝え、他人事にしないようにさせたい。	

数学	1	数学Ⅰ・A	既習事項と関連付けて考える項目や、できるようになったことを実感する項目では一定の評価が得られた。複数の情報を関連付けて問題を解決する力がついていると考えられる。	授業前にねらいを確認し、終了後は振り返りの時間を設けるだけでなく、定期的に生徒自身が自ら振り返ることができるような問題を扱う。
	2	数学Ⅱ	概ね良好で、教科書の内容の理解と基礎学力の定着を主眼に授業を行っており、生徒もよく取り組んでいる。	来年度の進路希望が確定し、数学を必要としない生徒にどのように意識を持って取り組ませるか、教材や授業展開の工夫を行っていく。
	2	数学B	教科書の内容に加えてレベルの高い問題も扱っているが、数学を意欲的に学ぼうとする生徒が多く取り組みも良いので、ほぼ全ての項目で高い評価となっている。	進路実現に向けて、難易度が高い問題にも所見で対応できるように、基礎となる数学的な考え方を育てる。
	3	数学Ⅲ	概ね知識を定着させることができた。しかし、単元の学習の中で、他者の考えを知り自らの考えを深める機会がやや少なかった。	入試問題演習の中で、1つの視点だけでなく複数の視点で物事を捉えるなど数学的な見方を深められるような授業展開を心掛けていく。
	3	数学探究ⅠAⅡB	多くの項目で良好な評価を得られたが、「ねらい・振り返り」の項目の評価が他の項目に比べて低かった。入試問題の演習と解説が中心であり、各問題ごとに身に付けたい力を明確にすることができなかった。	各問題ごとに身に付けたい力を明確にし、その習得を実感できるようにする。
	3	実践数学ⅠA	演習中心の授業で、例題の解説と演習で答えを解説することが中心の授業で、他者の考えを知る機会が少なかった。	生徒の板書をもう少し多く取り入れ生徒が解説できるようにしていきたい。
	3	発展数学ⅡB	演習中心の授業ということもあり、課題に対して自分の考えをまとめたり解決方法について考える場面を多く取り入れることができた。しかし、毎時間の中で見通しをたてて学習できた生徒がやや少なかった。	毎時間の授業の中で何を学ぶか、何ができるようになればよいか等の学習のねらいをしっかりと伝え、見通しをたてられるような授業展開を心掛けていく。
理科	1	物理基礎	グループワーク等を取り入れながら習得したことの活用法を確かめ、それを実感させることができた。物理自体に興味を持ってくれる生徒がやや少なかった。	授業内容だけでなく、身近な事柄や生活との結びつきを実感し、物理や自然科学への関心を高められるような授業展開を心がけていく。
	1	化学基礎	中学からの既習事項を意識して指導したため、既習事項との関連性や学んだことの有用性について一定の評価が得られた。一方で他者の考えを知る機会が少ないという課題も挙げられる。	既習事項との関連づけは継続しつつ、自分の意見をまとめたり、他者の考えを聞く機会を多く設ける。
	2	物理基礎	他者の考え方に触れる機会を多く持つことを意識して授業を作っていた。授業内容や最終到達点がやや不明確になってしまっていると感じている生徒もいたということが課題である。	目標を明確にし、既習内容や生活との結びつきを理解できるような授業づくりを意識しつつ、他者との考えの違いを実感できるような授業展開を継続したい。
	2	化学基礎	ねらいを提示したり、都度振り返る時間や話し合いの場面を設けたため、それらについては一定の評価が得られた。一方で問題演習の時間が少なく、有用性を実感できる機会が少ないという課題も挙げられる。	問題演習や実験を通し、学んだことの有用性や達成感を味わえるような場面を多く設ける。
	3	物理＋発展物理	問題演習を多く取り入れたこともあり、「できた」という実感が得やすい授業であると生徒から評価されたようだ。自分の考えをまとめたり、他者と意見を共有する機会を増やしていく必要がある。	自分の意見を表明したり、他の生徒の意見を聞くような時間を増やしていきたい。
	3	化学＋発展化学	授業への取り組みは大変よく、生徒の学習意識は高い。演習問題にもよく取り組んでいるが、知識の定着が不十分である。	繰り返し演習問題を解くことで、知識の定着をはかり、応用力もつけられるように働きかける。
	3	生物＋発展生物、文型選択(生物)	授業への取り組みはよく、概ね授業の内容に関する理解はできているようである。	引き続き指導法を工夫しながら、家庭学習を促し、復習を通して、まとめ、考える場面をつくりたい。

保健 体育	1	体育	できるようになったことの実感は得ている生徒が多数いるが、既習事項と関連付けて理解することについては課題が見られる。	実技種目として、授業内で身につけることや、できるようになったことを実感することができる授業が展開されているのは大変良いと考える。様々な動きは、多種目で活用できることをわかりやすく伝えていきたい。
	1	保健	概ね良好と考えるが、指導方法の項目で、「知識をもとに、解決方法を考える」が少々低くなっている。	知識を教えるのはもちろんであるが、身近な実体験等に照らし合わせながら、解決方法を考えさせていきたい。
	2	体育	各項目において、概ね良好だったが、自分の考えをまとめ知識をもとに解決方法を考える場面が得られていないと感じる生徒や「知識をもとに、解決方法を考える」の項目が低い生徒が見受けられた。	ねらいを明確にし、生徒自らが解決方法を考えることのできる授業展開を目指したい。
	2	保健	自らの考えを広げ深めることができたという生徒が多く、実生活に活かせる内容が多くあったように感じる。また、他者の考えを知り自らの考えを広げ深めることもできているようである。	ねらい、振り返りのやや評価が低い。毎回の授業の中でさらなる工夫をし、学習のねらいや学習後の振り返りの充実を目指したい。
	3	体育	全体的に概ね良好な評価が得られた。その中でも、授業の中でできるようになったことを実感できる生徒が多かったようである。	できるようになる実感をもたせることを大切にしながら、他者との交流をはかったり、自らの考えを広げる機会を多くつくっていきたい。
芸術	1	音楽Ⅰ	授業の中でできるようになったことを実感できた生徒が多かった。また、他者との交流から視野を広められたとの感想も多かった。	演習活動を通じ、自分の感性や能力を広げられるよう、課題を工夫していきたい
	1	美術Ⅰ	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができたという生徒が多く、知識を技術に活かすことができているようである。	ねらいや振り返りは題材のはじめと終わりに行っているが、結果を見ると数値は高くないので十分に伝わっていないか、もしくは質問文の毎時間というところで行われていないと判断している可能性がある。
	2	音楽Ⅱ	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができたという生徒が多く、技術をより発展させる方向を目指しているようである。	授業のねらいを、演習活動のなかでしっかり認識できるように、課題に取り組む際の意識づけを明確にし、振り返り活動を取り入れながら展開してゆきたい。
	2	美術Ⅱ	学習事項を体系的に理解できている生徒が多いようである。また、他者の考えに触れ自らの考えを深められる機会があると感じている生徒が多い。	生徒の様子を踏まえ、高度なことを求めてよい部分等を見極めながら後期の授業を展開し、自己を表現できるようにする。
	3	自由選択 (ソルフェージュ)	授業の中でより積極的な課題を自覚し、技術の獲得に積極的に取り組みができているようである。	授業における取組の中で、より将来に生かせる課題設定を工夫し、積極的に取り組ませたい
3	自由選択(素描)	概ねよい評価であり、自律的な学習態度を身に付けつつある生徒が多い。	引き続き意欲的に取り組めるよう課題の工夫や実施の工夫をしていく。	
英語	1	英語コミュニケーションⅠ	自分の考えをまとめたり、他者の考えを知ったりする機会があるという点では一定の評価が得られているが、授業のねらいの確認や振り返りの機会という点については低い評価となっている。	授業のねらいをきちんと生徒に伝え振り返りの時間をしっかりと確保するなど、既習事項との関連を意識した展開を工夫したい。
	1	論理表現Ⅰ	中学での既習事項と関連付けて学ぶことができる点で、高い評価が得られた。	引き続き知識の積み重ねを行うとともに、言語の使用場面をさらに設定し、英語でのやりとりを活発に行わせ、技能と考えを深めさせていきたい。
	2	コミュ・英語Ⅱ	全体的に概ね良い評価を得られた。その中でも、授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができたという生徒が多かった。	他と比べて、「知識をもとに、解決方法を考える」も項目の評価が低かった。既習事項をもとに、新しい問題を解く習慣や方法を身に付けさせる必要がある。
	2	英語表現Ⅱ	既習事項と関連付けて理解することができる点では一定の評価が得られたが、学習のねらいや振り返りを行う機会などは改善の必要がある。	授業や単元ごとにねらいを示し、振り返りの時間を確保する。また、既習事項との関連を意識した展開をし、自分の考えをまとめたり課題の解決方法を考えたりする機会を設ける。
	3	コミュ・英語Ⅲ	全体的に概ね良好な評価が得られた。特に他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会について高い評価を得た。	学力の定着という点では、まだ不十分である。継続的に指導し、生徒ができるようになったことを実感できるようにする。
	3	英語表現Ⅱ	全体的に概ね良好な評価が得られた。特に単元の学習の中で他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会について高い評価を得た。	自らの考えを広げ深める機会を多く設け、授業の中で身についたことやできるようになったことを実感することができるように努める。
3	発展英語	学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを深める機会に対しては良好な評価であったが、学習のねらいや振り返りを行う機会などは改善を図る必要がある。	毎時間の授業や単元を通して、生徒が見通しを持って学ぶことができるように支援をするとともに、学習内容を振り返る機会を充実させることで、言語活動の更なる充実を図る。	
情報	3	社会と情報	授業の中で学習の成果を生徒に実感させることができていると考える。一方で、学習のねらいを示したり、互いの意見を交換する機会が少ない。	グループ内で教えあう形式をとっていたが、あまり効果がないように思える。ディスカッションの場を作るなどし、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深められるように工夫していく必要がある。